

初心を貫き、責任ある政治を

埼玉県議会議員



なかやしき 慎一

安全で安心な故郷
ふるさと 彩の国・鴻巣づくり

【討議資料】

<http://nakayashiki.net>

今日から、私の2期目4年間の県の代表的な施策について、週替わりで皆様にお伝えして参ります。

まず、第1号では、「県議選選挙区分断解消」と、県の三大プロジェクトのひとつである「健康長寿プロジェクト」について「お知らせいたします。」

いよいよ川里も一緒に！

9月議会最終日の10日、来春の統一地方選、県会議員選挙の新たな区割りとなる定数にかかる条例改正案が可決しました。

この問題については、鴻巣市の平成17年10月の合併後も、私が初当選いただいた平成19年の選挙、そして、前回平成23年の選挙とも鴻巣市の合併特例、加須市の合併特例によって、旧川里地域は鴻巣市であるにもかかわらず、鴻巣市の選出議員の選挙にかかわれないという分断選挙区とされたままでした。

その間、市議会からは「旧川里町を同一の選挙区にすることを求める意見書」が三度にわたって提出されたり、平成22年には川里地域にお住まいの野呂氏や坂本氏を始めとする3236名にも上る皆さんから、2度にわたる請願を提出いただきました。それら諸活動の後押しもあり、今回川里分断区が解消された事は、更なる鴻巣市の一体性の確立、均衡ある発展にとって、必ずや好影響を与えてくれるに違いないと確信しています。

19年の選挙当時から、分断区解消を訴え続けてきた私としても、本当にうれしいです。さて、今回の改正により、県全体の議員数は、現行の94人から1減の93人へ、選挙区も58から52へと再編されました。わが鴻巣市は、市として一つの選挙区、定数も1増の2人という事になり、春の県会議員選挙は鴻巣市始まって以来の2人を選ぶ選挙となります。私も初めての経験ですが、しっかりと取り組んでまいります。

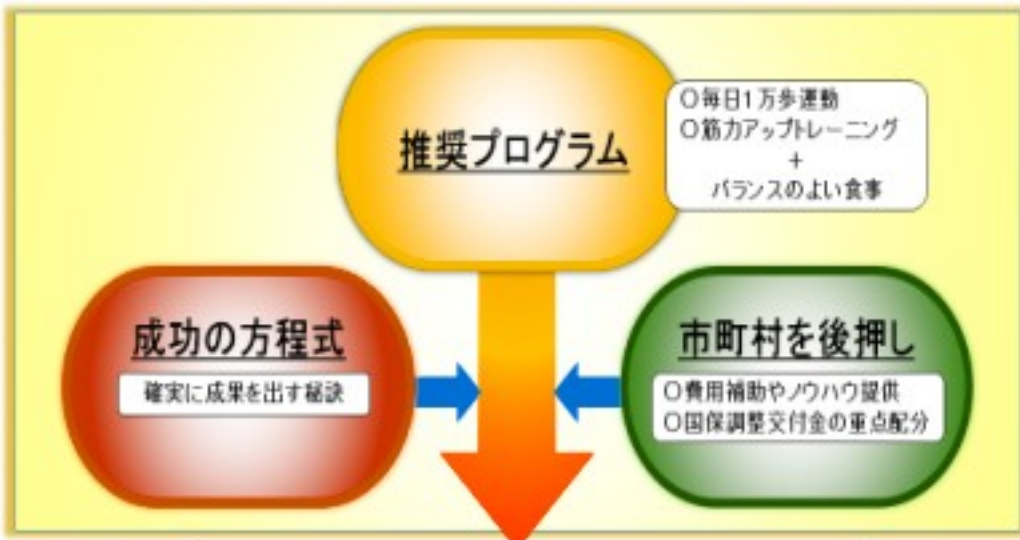


平成25年6月 断望 旧川里町 区解消の 書を受け取る



ますます健康ますます長寿に

2012年度から展開している健康長寿プロジェクトは、県民の健康意識の向上や、健康寿命を延ばし、医療費の抑制に繋げて行くのがねらいである。県内7市がモデル事業に取り組んできたが、県は、「毎日一万歩運動」と「筋力アップトレーニング」を全県へ普及拡大する事業として紹介することにした。



全県へ普及・拡大

●学会発表等を踏まえ、推奨できるプログラム
～身体データが改善し、医療費の抑制が実証されたもの～

毎日1万歩運動(東松山市)

●毎日1万歩運動(日本体力医学会大会 H26.9.20)
(概要) 毎日1万歩を目指してウォーキング実施(6か月)
(主な成果)・中性脂肪 33.1mg/dl 低下(147.6→114.5)
・HDLコレステロール 7.2mg/dl 低下(61.1→68.3)
・医療費年間 23,846円 抑制
※参加者と比較対照者との差

《手軽に取り始める簡単版》
●プラス1000歩運動
(日本公衆衛生学会総会H26.11.6)
(概要) 普段の歩数+1000歩を目指す
(主な成果)・歩調 0.7cm減少
・体脂肪率 0.4ポイント減少

筋力アップトレーニング(加須市)

(日本公衆衛生学会総会 H26.11.6)

(概要) 週1回の教室と自宅トレーニング(9か月)
・スクワット、腹筋、背筋などの筋トレ
・エアロバイク、ウォーキングなどの有酸素運動

(主な成果)
・体力年齢 8.0歳若返り
・筋肉率 1.0ポイント 上昇
・体脂肪率 2.1ポイント 減少
・医療費年間 78,882円 抑制
※参加者と比較対照者との差

＋ バランスのよい食事(例:1日野菜350g以上、塩分8g以下)

なかやしき慎一 プロフィール

昭和34年8月1日、鴻巣生まれ 55歳
 鴻巣市立鴻巣東小学校・鴻巣中学校卒
 城西大学付属川越高校卒
 東京経済大学経営学部卒
 (有)マルハチ石鹼工業所 代表取締役
 1999年度(社)鴻巣青年会議所 理事長
 平成14・15年度鴻巣市立鴻巣東小学校PTA 会長
 平成17年度鴻巣市立鴻巣中学校PTA 会長
 鴻巣市体育協会 副会長
 鴻巣市硬式テニス協会 副会長
 上尾間税会鴻巣支部 理事
 雷電町町内会 副会長
 鴻巣びっくりひな祭り実行委員会 委員
 鴻巣市水泳連盟 会長

なかやしきの思い

県は、推奨事業を始める市町村に対し、プログラムの企画、実施、検証の相談を受けたリ、アドバイスをしたりする。体力測定や、血液検査に必要な器具の購入、ICT(情報通信技術)活用などの初期費用を補助する他、模範となる市町村には、国民健康保険の調整交付金を重点的に配分する方針。

今後日本中で一番の速さで高齢化率の上昇してくる本県にとって、健康寿命を高めに行くことは、喫緊の課題だ。わが鴻巣市でも昨年の11月には、65歳以上の比率は、25%を超えている。原口市長の提唱している、「人もまちも健康」を達成するために、推奨事業への参加を願いたい。